

5. パッシブな環境調整手法のいろいろ

(1) パッシブシステム：機械設備を用いず，建築自体の部位エレメントの工夫によって，自然エネルギーの有効利用をはかって，環境調整を行う

地球環境問題 機械依存，エネルギー（化石燃料）依存の居住環境が許されなくなる
省エネルギー，自然エネルギーの有効利用，未利用エネルギーの利用を図る必要がある

(2) パッシブシステムの利点

- ・省エネルギー
- ・非冷暖房時における居住性の向上
- ・建物自体の保護

ただし，パッシブシステムだけでは限界があり，アクティブシステムとの複合が实际的である。

(3) 自然エネルギー利用技術と先人の知恵

- ・先人の知恵 民家

化石燃料を用いなくて，室内環境を快適に維持するために，その土地の気候風土に特有の様々な工夫を施してきた

現代への応用

(4) いろいろなパッシブな環境調整手法

次ページ以降のテキスト，OHP，スライド参照

防暑，防寒，防風，防雪，・・・・・・

6. 参考文献（その2）（〔 〕内は県立大学図書館の所蔵情報）

- ・『絵典 世界の建築に学ぶ智恵と工夫』（ジョン・S・テイラー著，後藤久訳，彰国社，1989年3月，¥1,680，ISBN：4-395-05082-4）〔所蔵なし〕
- ・『SD選書184 建築家なしの建築』（B・ルドフスキー著，渡辺武信訳，鹿島出版会，1984年1月，¥1,890，ISBN：4-306-05184-6）〔文庫本，080||69||184，0000232300〕
- ・『建築探訪4 住まいの中の自然』（小玉祐一郎，丸善，1992年10月，¥2,415，ISBN：4-621-03768-4）〔所蔵なし〕
- ・『世界の民家 住まいの創造』（川島宙次，相模書房，1990年6月，¥3,518，ISBN：4-7824-9004-6）〔開架2，520.2||KA1，0000053675〕

質問などは，環境共生学部棟（生活科学部棟）旧棟4階407 まで

もしくは，電話：096-383-2929（内線492）

E-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

資料は，<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/m-tsuji/kougi.html/lecture.html> まで